

報告事項 イ

英語によるコミュニケーション能力向上事業の実施について

英語によるコミュニケーション能力向上事業の実施について、別紙のとおり報告します。

令和5年9月6日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

英語によるコミュニケーション能力向上事業の実施について

令和5年9月6日 小中学校課、高等学校課

児童生徒の英語学習への意欲の向上と、英語によるコミュニケーション能力の向上のため、児童生徒がネイティブスピーカーと実際に英語を使ってコミュニケーションを取る場の創出として、以下のイベントを開催しましたので、報告します。

- ・小学生対象：小学生のための1 DAYイングリッシュ
- ・中学生及び高校生対象：Tottori English Challenge Program 2023

1 小学生のための1 DAYイングリッシュ

(1) 目的

ネイティブスピーカー等とともに、英語を使いながら様々な活動に取り組むことで、英語によるコミュニケーションの楽しさを感じ、英語学習への意欲の向上を図る。

(2) 会場、開催日時及び参加対象等

	会場	開催日 ※午前10時から午後4時まで	参加対象	当日参加者数
中部	伯耆しあわせの郷	令和5年7月29日(土)	小学5、6年生	10名
		令和5年7月30日(日)	小学3、4年生と保護者	24名(親子12組)
東部	鳥取県立福祉人材研修センター	令和5年8月5日(土)	小学5、6年生	16名
		令和5年8月6日(日)	小学3、4年生と保護者	36名(親子18組)
西部	鳥取県立大山青年の家	令和5年8月19日(土)	小学5、6年生	17名
		令和5年8月20日(日)	小学3、4年生と保護者	34名(親子17組)

※東部会場(8月6日(日)開催)と西部会場(8月20日(日)開催)については、定員を超える参加希望があったため、抽選により参加者を決定した。

(3) 活動内容

外国人講師(6名～8名)や他の参加者とともに、「英語で夏祭りを楽しもう!」をテーマに、英語を使って、様々な活動に取り組んだ。

<主な活動>

- ①自己紹介
- ②グループに分かれ、秘密の暗号を見つけて宝箱を開けるゲーム、英語で注文するロールプレイ、自分が何のキャラクターなのかを当てるゲーム、ヨーヨー釣り等の体験活動
- ③外国人講師による、諸外国(アメリカ、イギリス、フィリピン、ペルー、トリニダード・トバゴ)の祭り等についての紹介

(4) 参加者感想(一部)

- ・初めて外国の先生と会って直接お話ができたので、とても嬉しかったです。(小学3年生児童)
- ・外国人の方々と活動して外国人の方と仲良くなれたし、参加していた他の小学校の人と仲良くなれたので、このようなイベントがまたあれば来たいです。(小学5年生児童)
- ・英語が得意ではなかったけど、授業で得意にしていきたいと思いました。(小学6年生児童)
- ・部屋に入った時から英語が飛び交っていて、親子共々大丈夫かなと心配でしたが、普段関わることがない外国人の先生たちと交流をもて、貴重な体験でした。カタコトの英語でしか話せませんでしたが、優しく教えてくださり、うれしかったです。(保護者)
- ・子どもが英会話を習っていますが、外国の方とコミュニケーションをとるチャンスがなかったので、英語を使ってみる機会になってとても嬉しかったです。ネイティブな発音を聞くだけでもいい刺激になり、外国の方とふれ合うことが「楽しい」と感じられることがこれからもあるといいです。(保護者)

(5) その他

- ・外部委託事業として実施(委託業者:株式会社インタラック西日本)
- ・委託業者から派遣された外国人講師以外に、県内ALTのべ3名が当日の運営に協力
- ・参加費無料

2 Tottori English Challenge Program 2023

(1) 目的

外部ネイティブ講師及び外国語指導助手（ALT）等のネイティブスピーカーによる目的別のレッスンを、3日間にわたり受講し、英語のスピーキング力を高める。

(2) 会場及び開催日時

会場：鳥取県立倉吉体育文化会館

日時：令和5年8月11日（金）、12日（土）、13日（日） ※午前10時から午後3時45分まで

(3) 参加者数（人） ※参加希望者は全員参加

コース	中学生	高校生	合計
プレゼンテーション	8	4	12
ディベート		6	6
ディスカッション	8	4	12
ドラマ・スキット	17	4	21
	33	18	51

(4) 活動内容

4つのコース（プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、ドラマ・スキット）別のグループに分かれて、3日間にわたってそれぞれのスキルを高め、最終日にコースごとで成果発表を行った。
<コースごとの主な活動>

①プレゼンテーション：

- ・プレゼンテーションの基礎知識（大切なルール、良いプレゼンテーションの特徴、フレーズの練習）
- ・グループ・プレゼンテーションの準備（テーマ決め、役割決め、アウトライン決め、スライド作成）

②ディベート：

- ・ディベートの基礎知識（ディベートのルール、ディベートを行うことの意義、フレーズの練習）
- ・ディベート技術の向上（ミニ・ディベート、ディベートルールに沿った練習）

③ディスカッション：

- ・ディスカッションの基礎知識（ディスカッションを行う際の役割、ディスカッションをスムーズに行うポイント、フレーズの練習）
- ・ディスカッションの準備（意見の伝え方と必要な情報の整理、話題についての疑問や質問の整理）

④ドラマ・スキット：

- ・ドラマ・スキットの留意事項（ドラマ・スキットをスムーズに行うためのポイント、ドラマ・スキットの練習の仕方）
- ・オリジナルドラマ・スキットの準備（スキットの人物になりきって演じる、語彙やフレーズの練習、オリジナルドラマの台本作成）

(5) 参加者感想及び事後アンケート結果

①参加者アンケート（一部）

- ・意外と自分の英語が通じた！という驚きがありました。（中学生）
- ・とても楽しい3日間でした。目標に向けてもっと英語学習を頑張ります！（中学生）
- ・3日間でも力がつきました。（高校生）
- ・英語で話す機会がたくさんありましたが、ミスを恐れずに伝えることができました。（高校生）

②事後アンケート結果（一部）

- ・質問：全体として、この3日間のプログラムにどのくらい満足されましたか？
「とても満足」72% 「満足」28% （「どちらともいえない」「不満」「とても不満」は0%）

(6) その他

- ・外部委託事業として実施（委託業者：ステップフォワード株式会社）
- ・委託業者から派遣された外国人講師以外に、県内ALTのべ26名が当日の運営に協力
- ・参加費無料

令和5年度「小学生のための1DAYイングリッシュ」(中部地区)

令和5年8月
小中学校課

児童の英語学習への意欲の向上と英語によるコミュニケーション能力の向上のため、「英語で夏祭りを楽しもう！」をテーマに、外国人講師や他の参加者とともに、英語を使いながら活動を行うイベントを開催しました。

＜中部会場（伯耆しあわせの郷）実施状況＞

1 参加者

- (1) 7月29日（土）小学5、6年生対象：10名
- (2) 7月30日（日）小学3、4年生と保護者：24名（親子12組）

2 活動内容（外国人スタッフ8名）

(1) 自己紹介

(2) 3つのグループに分かれ、体験活動

○秘密の暗号を見つけて宝箱を開けるゲーム

（英語で質問しながら、4枚の写真からキーとなる1枚の写真を見つけて、暗号を解読し、宝箱を開ける活動）

○英語で注文するロールプレイ

（疑似アイスクリーム屋さんを設営し、メニューを見ながら疑似通貨を使って、英語で注文したり、売ったりする活動）

○自分が何のキャラクターなのかを当てるゲーム

（子どもたちになじみのあるアニメキャラクター等のカードを自分に見えないように頭につけ、仲間に英語で質問しながら、キャラクターを当てる活動）

○ヨーヨー釣り

（ルーレットを回し、英語の質問に答えながら、ヨーヨーを時間内に釣り上げる活動）

(3) 外国人講師による諸外国の祭り等についての紹介

（アメリカ、イギリス、フィリピン、ペルー、トリニダード・トバゴ）



3 児童の感想

- ・英語で先生と話すことができたのが良かったです。
- ・前よりも、英語や外国のことを知ることができてよかったです。
- ・初めて外国の先生に会って、直接お話ができたので、とてもうれしかったです。また参加したいです。
- ・外国の方と活動して仲良くなれたし、来ていた人とも仲良くなれたので、このようなイベントがあれば、また参加したいです。



4 保護者の感想

- ・普段なかなかふれることのない外国の文化や英語にふれることができてよかったです。
- ・たくさん英語シャワーを浴びた気分です。とても楽しい時間を本当にありがとうございました。
- ・部屋に入った時から英語が飛び交っていて、親子共々大丈夫か心配でしたが、普段かわることのない外国人の先生たちと交流がもてて、貴重な体験でした。
- ・子どもが英会話を習っていますが、外国の方とコミュニケーションをとるチャンスがなかったので、英語を使ってみる機会になってとても良かったです。
- ・ネイティブな発音を聞くだけでもいい刺激になるし、外国の方とふれあうことが「楽しい」と感じられる、こうした機会がこれからもあるとよいと思いました。

